

# しらかばだより

2017.8.31

No.25

- 発行:社会福祉法人 信濃の郷 ●発行者:中嶋一光
- 〒399-8603 長野県北安曇郡池田町大字中鵜3080番地
- TEL: (0261) 62-6741 (代) ●FAX: (0261) 62-6889
- ホームページ: <http://shinano-sato.jp> ●印刷:株式会社 成進社印刷

## ごあいさつ

信濃の郷 理事長 伊東 正幸

本年6月の理事会において三溝理事長の後任にはからずも理事長に就任いたしました伊東正幸でございます。お受けしてから職務の重責をひしひしと感じております。

白樺の家は平成6年、社会福祉法人信濃の郷の運営による自閉症障害者更正施設として開所して今年で23年が経過し、多くの皆様に支えられ利用者が安心して生活できる施設として歩んでまいりました。改めて感謝申し上げます。

昨年度社会福祉法人制度改革が施行されまして法人運営の見直しを実施されました。それに伴い定款も変更されました。内容につきましてはその都度説明の機会をもうける予定ではございますが経営組織のあり方、理事会、評議員会、監査会のあり方等大きく改正になりました。内部管理体制についても強化され、新時代に向かって方向が定められました。

三溝前理事長方針でありました「職員が入りたい施設をつくろう、関係者の協力体制を強固にしよう」を継承して常に前向きに取り組んでま

いります。特にスタッフの人員不足、労働環境整備は緊急の課題であり、関係機関にも協力していただき執行部としても早急に取り組みます。今後ともご支援、ご協力をお願いいたします。





## 「じゅうじゅう円」と「合理的配慮」

保護者会長 刈間 靖

ある施設長のつぶやきです。若い支援者が、数の得意な利用者にお金の事を教えようと、10円玉を10個渡して数えてもらいました。90円までは順調だったが、次が100円では無く「じゅうじゅう円」でした。金銭感覚や価値観が一般社会人とは異なる知的障害です。

支援員の困っていた様子が書かれていました。

近年障害者福祉に係る法律がいくつか制定されました。これまでは病的な基準の「障害」が、社会的障壁、生活の「しにくさ」を「障害」とすることになった「障害者基本法」や、「障害者差別解消法」「虐待防止法」ができ、障害者の人権が守られる国内法が整ったことから、長いあいだ国連から催促されていた「障害者の権利条約」が昨年10月締結され、国際社会の仲間入りとなりました。

基本となる障害者の人権についてのテーマとして「合理的配慮」という罰則を伴う義務行為が明文化されました。

社会の中で、ちょっとした工夫によって、障害があっても快適な生活を送れる。この「工夫」を「合理的配慮」と言っていますが、その前提になっているのが、「本人からの申し出による」事になっていきます。

自己表現を苦手とし、社会常識の価値観とも異なる「知的障害者」の意思をどのように汲み取り、本人の本心によって決める事を支える「意思決定支援」が取り上げられています。

表面に現れる言葉だけを据えての支援では間違いがあると言われます。経験や選択肢を増やすことが大切と言われます。

本人の本当の意を汲んだ意思決定の支援が合理的配慮だと思います。日常関わっている私たち保護者と支援者が、まだまだ沢山ある課題に向かって研修を深めていく活動を進めたいと思います。



## 新職員より ごあいさつ

竹村 晴香



初めまして、竹村晴香と申します。この4月より入社いたしました。

清泉女学院短期大学幼児教育科の出身です。在学中に実習生として白樺の家で学ばせていただいた際に雰囲気良かったため、ここで働きたいと思い、入社させていただきました。

学生時代は、人前に出ることが苦手ながら、歌を歌ったりパフォーマンスをしたりするサークルに所属していました。行ったことのない中でもバルーンアートが得意で、動物や花等を作ることができます。メンバーさんにも見て楽しんでいただけたらいいなと思っています。性格は真面目でのんびり屋です。一つひとつのことを丁寧にながらもテキパキとできるようにするのが私の目標です。

まだまだ何も分からず、ご迷惑ばかりおかけすると思いますが、まずは早く仕事を覚え、メンバー

さんとより親しくなれるように頑張ります。よろしくお願い致します。

栗原 保



2月よりワークセンターしらかはスタッフとしてお世話になっております栗原と言います。

利用者様が笑顔で過ごせ楽しくできる作業環境を提供し、利用者様が主体となって活躍して頂き、寄り添った支援を考え行なって努力したいと思っていますので、宜しくお願い致します。





# 大北地区運動会に参加して

羽田野 敏聡

毎年恒例となった運動会ですが、以前は各市町村とは別に、白樺の家で単独チームを作り参加させて頂いておりましたが、年々利用者さんの参加が減る中で、今年度より池田町より声が掛かり、地域の方と一緒に合同で参加する事となりました。地域の方と同じブースでの参加でしたが、楽しく競技に参加していました。一番人気のパン食い競争は、手で掴む人、

なかなか取る事ができない人など様々で、会場は大盛り上がりでした。競技種目は特に変更もなく慣れた感じで参加できていましたが、事前に練習できれば、もっと上手く楽しめるかもしれません。池田町は結果5位という成績でしたが、参加賞でたくさんさんの賞品とお菓子を頂き、楽しい一日を送ることができました。



## ワークセンターしらかばでの活動・余暇の日の様子

ワークセンターしらかばは開所から5年がたちました。現在生活介護12名、就労継続B型14名、就労移行6名の方々が利用されています。

生活介護では、午前中はアルミ缶つぶしや自立課題としてビーズ通しなど、午後はハイキングなどの活動を行っており、最近季節に応じたアロマスプレーを製作しております。ご希望があればご連絡ください。

就労継続B型はクッキー班、清掃班に分かれています。クッキー班は外部の会社より委託された

クッキーづくり、清掃班では委託された農作業や施設の清掃などの作業に取り組んでいます。

就労移行では協力会社での発送までの梱包作業や品出しなどの実習、電子製品の組み立てなどの内職に取り組み、就職に向けて日々訓練を重ねております。

利用者の方には月1回工賃をお支払いし、その工賃を使って買い物や余暇などを楽しみ、余暇の充実にも努めています。

ワークセンターでは作業を募集中です。お願いしたい作業がありましたらお声をおかけください。





## 白樺の家での活動・余暇の日の様子

### 椎茸原木班

椎茸原木班は、椎茸栽培の活動を通して、体力の維持や情緒の安定を図るために実施しています。

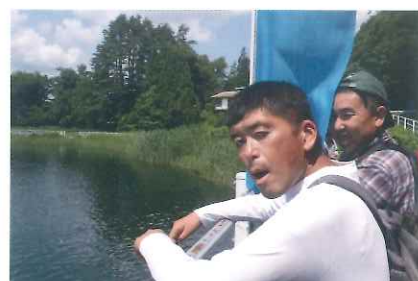
『ほだ木』と呼ばれる椎茸の種駒を植え込んだ後に菌が蔓延した原木の運搬を行い、椎茸の生育を促す活動を10人のメンバーさんと共に頑張っています。ほだ木はそのまま放っておいても椎茸は発芽しません。発芽を促すには『叩く』や『水に浸す』などといった刺激を与える必要があります。椎茸原木班では主に『原木を水に浸して刺激を与えて椎茸の発芽を促す』作業を春から秋の終わりにかけて



実施しています。ほだ木の立て掛けてある場所（ほだ場といいますが）から大きなコンクリート製の水槽の中へ原木を運び込み、その中に水を張って一晩浸して刺激を与えます。一晩水に浸した原木を翌日には元の場所、又はもう少し椎茸が出そうな場所へと移動して立て掛けをし、椎茸が発芽するかどうかを見守りながら他の場所の原木を再度水槽に入れる作業をほぼ毎日繰り返します。原木は太いものから細いものがあり、運んでくれるメンバーさんの体力に応じてスタッフが振り分けています。頑張ってくれる方は一度に2〜3本も運んでくれ、とても大助かりです。

白樺の家は坂道の途中に施設があるため、原木運びも上り坂でとなればとても大変な作業です。でも、そんなのへっちゃらー！と言わんばかりに頑張ってくれるメンバーさんが非常に多くとてもありがたいです。下り坂だと仕事のペースも早くなり、午後には仕事がない…なんてことも。

そんな頑張りに感謝をしながら、月に1回の給料日、2か月に1回の余暇の日を設定して、この日を励みにと頑張ってもらっています。みなさんがたくさん原木を運んでくれるおかげで、今年もたくさん椎茸が採れています。もともとたくさん椎茸が採れる秋に向けて、これから頑張りがりどころとなります。これからのみなさんで力を合わせて、頑張っていきましょう！！



### 収穫ばかし班

収穫ばかし班では、現在、椎茸の収穫や干し椎茸作り・製品作りを中心に活動しています。椎茸収穫では、毎日のように坂を往復してほだ場を回っています。干し椎茸作りでは各々のメンバーさんが自分の得意な部分を中心に組みつつも、皆で協力しながら商品にしています。

製品作りでは、各々のメンバーさんの得意・不得意もありますが、班全体でフォローしながら、楽しく一生懸命に日々、取り組んでいます。

2か月に1度のペースで余暇の日を計画し、楽しんでいます。内



容はその都度、メンバーさんの意見を取り入れながら相談して決めています。今までは、ピクニックに出掛けたり、バーベキューをしたり、皆で外食に出掛けたり...と様々な事をして楽しんでいきます。

毎日、忙しい収穫班ですが、責任感を持って最後まで丁寧に仕事をこなしてくれるメンバーさん達に支えていただいているおかげで、笑顔で楽しく活動する事ができています！



## インドア班

今年も例年のように、音楽療法を年6回計画、季節を感じる歌や手遊び、また楽器を使って体感を鍛えるなど楽しみながら行うことができます。中でも「信濃の国」の歌は利用者の一部の方が大好きな歌で、長野県人なら誰でも知っ



ているとテレビの「ヒミツのケンミンショー」で紹介されていました。私も聞くと元気が出て来ます。今年も一緒に歌いたいと思います。アニマルセラピーは7/5にインドア班中心の方々が動物にふれあいました。気持ちをいやし情緒の安定に期待したいと思っています。余暇活動では6/14にちひろ美術館へ行き、青空と深緑の中、おやつのアイスを購入、皆さんおいしそうに食べていました。最近のインドア班は、ショートステイ利用者も増え、人数も大所帯になり、白樺内で一番大きなグループとなっています。車イスの



方から歩行には特別問題ない方で幅があり、活動が難しい局面に差しかって来ていると思います。

## 自立課題班

自立課題班は、自立した生活を確立するために毎日決まった手順で決まった作業を行うことが出来る能力の獲得を目指した活動を行っています。具体的には空き缶潰しやビーズを糸に通すビーズ通し、カードのマッチングなどを行っています。必ずしも収益に結びつかない作業もありますが、まずは利用者さん一人一人の特性に合っ



た作業を提供することで、毎日同じ作業を繰り返し行う習慣を身につけていただくことを優先しています。

活動場所は事務棟裏手にある作業棟を使用しています。各利用者さんの作業場所や向きにも配慮して、作業に集中して取り組んでいただける環境を整える努力をしています。

収益の中心は空き缶潰しで、皆様からご提供いただいたアルミ缶を洗浄しプルタブを外して潰し、リサイクル業者に売却して収益としています。作業工程が分かりやすく換金性も高いことから福祉施設で取り組みやすい作業となっています。

おり、最近では作業に使用するアルミ缶の確保が難しくなってきました。皆様からご提供いただくアルミ缶が利用者さんの貴重な収入源となっていますので、どうか今後も引き続きアルミ缶の提供にご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。(缶の洗浄も利用者さんの活動の一環ですので、使用済みのままでもご遠慮なくお持ちください。)

将来的にはビーズ製品の製作など、他の収益活動に発展させたいと願っていますが、今のところは利用者さんが一定の作業を毎日行えることを優先に考えています。



## 保健室から

看護師 矢口 貞子

保健の目標は、

「利用者一人ひとりの現在の健康状態を把握し、機能の維持・改善、体力の保持と低下防止に努め、快適にいきいきと暮らせることを目的とした支援を行う」です。

看護師が増員され、利用者さんの日々の健康と病後の評価など話し合いながら、日々仕事をさせていただいています。

この20余年の中で、感染症などの大流行といえば、「アシカナ」。比較的、皆さん元気に年を重ねてくれました。



今まで、困難と思っていた事は、  
①痛い所・苦しい事が言えないこと  
②採血する時、イスに座れない、腕を出すことができないこと  
③通院では、待つことができないで、待ち合い室で騒いでしまったこと

④歯科が怖くて横になれなかったり、機材にドキドキしながら一つ一つ確認していたこと

⑤熱を出しても静養することができず、歩き回ってしまうこと  
⑥傷ができると、とことんいじって悪化してしまうこと

でも、数年するといつの間にか、採血も通院も落ち着いてできるようになりました。支援スタッフの助けもあり、利用者さんの進歩とともに、関わりの中から対策も立てられるようになってきています。またその陰では、8名の思いがけない別れもありました。人懐っこい笑顔、怒った顔などは忘れることはありません。

利用者さんが高齢になって体調を崩されると、あまり良いことは考えられなくなります。年齢を重ねるとともに、体力の衰え、病気など気がかりとなつてばかりです。後の事は次の方達にまかせてあと少し、利用者さん達のために奮闘しようと思っています。



# 社会福祉法人 信濃の郷 平成28年度決算報告

## 貸借対照表

H29年3月31日現在 (単位:円)

資産の部		負債の部	
流動資産	179,166,562	流動負債	25,327,828
現金預金	119,133,721	事業未払金	4,522,402
事業未収金	44,077,722	その他の未払金	53,474
未収金	3,108,617	1年以内返済予定長期運営資金借入金	948,000
未収補助金	10,601,351	1年以内返済予定リース債務	2,273,712
原材料	189,912	未払費用	17,113,740
前払費用	991,019	未払消費税等	416,500
1年以内回収予定長期貸付金	948,000		
仮払金	116,220		
固定資産	605,805,543	固定負債	32,629,110
基本財産	351,493,499	長期運営資金借入金	6,550,542
土地	33,246,017	リース債務	9,563,460
建物	316,731,040	退職給付引当金	16,515,108
建物附属設備	1,516,442	負債の部合計	57,956,938
その他の固定資産	254,312,044	純資産の部	
土地	23,829,196	基本金	100,474,703
建物	95,351,213	第1号基本金	100,474,703
建物附属設備	64,914,120	国庫補助金等特別積立金	200,261,853
構築物	6,531,774	その他の積立金	24,650,000
機械及び装置	1	人件費積立金	20,000,000
車両運搬具	495,231	施設・設備整備積立金	1,650,000
器具及び備品	2,951,161	その他積立金	3,000,000
有形リース資産	11,614,216	次期繰越活動増減差額	401,628,611
ソフトウェア	834,862	(うち当期活動増減差額)	▲ 5,629,935
投資有価証券	20,000		
長期貸付金	6,550,542		
退職共済預け金	16,515,108		
人件費積立資産	20,000,000		
設備等整備積立資産	1,650,000		
その他積立資産	3,000,000		
リサイクル預託金	54,620		
資産の部合計	784,972,105	純資産の部合計	727,015,167
		負債及び純資産の部合計	784,972,105

## 資金収支計算書

(自) 平成28年4月1日～(至) 平成29年3月31日 (単位:円)

勘定科目		決算
事業活動による収支	収入	
	就労支援事業収入	7,601,014
	障害福祉サービス等事業収入	259,474,678
	経常経費寄附金収入	3,754,000
	受取利息配当金収入	23,951
	その他の収入	7,693,595
	事業活動収入計	278,547,238
	支出	
	人件費支出	173,043,525
	事業費支出	32,375,751
施設整備等による収支	事務費支出	49,891,587
	就労支援事業支出	6,839,608
	その他の支出	2,511,095
	事業活動支出計	264,661,566
	事業活動資金収支差額	13,885,672
	収入	
	施設整備等補助金収入	6,569,000
	固定資産売却収入	940,689
	施設整備等収入計	7,509,689
	支出	
	固定資産取得支出	20,958,507
その他の活動による収支	ファイナンス・リース債務の返済支出	557,200
	施設整備等支出計	21,515,707
	施設整備等資金収支差額	▲ 14,006,017
	収入	
	長期貸付金回収収入	2,148,000
	積立資産取崩収入	92,790
	その他の活動による収入	504,000
	その他の活動収入計	2,744,790
	支出	
	長期運営資金借入金元金償還支出	2,148,000
繰越活動増減差額の部	積立資産支出	756,220
	その他の活動による支出	1,850,352
	その他の活動支出計	4,754,572
	その他の活動資金収支差額	▲ 2,009,782
	予備費支出	—
	当期資金収支差額合計	▲ 2,130,127
	前期末支払資金残高	166,510,295
	当期末支払資金残高	164,380,168

## 事業活動収支計算書

(自) 平成28年4月1日～(至) 平成29年3月31日 (単位:円)

勘定科目		決算
サービス活動増減の部	収入	
	就労支援事業収益	7,601,014
	障害福祉サービス等事業収益	259,474,678
	経常経費寄附金収益	3,754,000
	サービス活動収益計	270,829,692
	費用	
	人件費	174,389,877
	事業費	32,396,914
	事務費	49,870,424
	就労支援事業費用	6,570,963
サービス活動外増減の部	減価償却費	29,080,971
	サービス活動費用計	292,309,149
	サービス活動増減差額	▲ 21,479,457
	収入	
	受取利息配当金収益	23,951
	その他のサービス活動外収益	7,693,595
	サービス活動外収益計	7,717,546
	費用	
	その他のサービス活動外費用	2,511,095
	サービス活動外費用計	2,511,095
特別増減の部	サービス活動外増減差額	5,206,451
	経常増減差額	▲ 16,273,006
	収入	
	施設整備等補助金収益	6,569,000
	固定資産売却益	940,689
	特別収益計	7,509,689
	費用	
	国庫補助金等特別積立金取崩額(除却等)	▲ 11,639,849
	国庫補助金等特別積立金積立額	6,569,000
	特別費用計	▲ 5,070,849
繰越活動増減差額の部	特別増減差額	12,580,538
	当期活動増減差額	▲ 3,692,468
	前期繰越活動増減差額	411,831,981
	当期末繰越活動増減差額	408,139,513
	基本金取崩額	0
	その他の積立金取崩額	0
	その他の積立金積立額	750,000
	次期繰越活動増減差額	407,389,513



# 第95回 ナイスハートバザール in松本に参加しました！

7月1日・2日にアイシティ21で開催されたナイスハートバザールに参加し、ワークセンターしらかばで作られた製品が展示販売されました！



紫芋クッキー  
&  
白樺の大豆  
&  
竹炭



アクセサリ  
&  
手縫いぞうきん



## 新しい役員・ 評議員等

法人役員・評議員等が改選及び就任いたしました。

また、長きに渡り法人の発展のためご尽力いただきました方々には心より感謝申し上げます。

理事長

伊東 正幸

理事

三溝喜久男 刈間 靖  
縣 美智子 新保 文彦  
中嶋 一光 蘭 眞美  
大井 一朗

監事

飯森 晋輔 山崎 幸子

評議員

高山 明男 羽賀 秀美  
立岩 玄人 黒田 國夫

評議員選任解任委員

森 善之 北原由記子  
矢口 洋子 飯森 晋輔  
山本 良恵

顧問

小林真理子 杉浦 茂登

## 皆様からの 御厚意

《寄付》

・長野県池田工業高校生徒会様  
・伊藤園町田支店様  
・カーブス大町店様  
・ビック池田店様  
・中信地区仏教青年連盟様  
・篠崎 鮎子様  
・清水 隆夫様

他

ありがとうございました



## スタッフ人事

《新任職員》

・栗原 保  
・竹村 晴香

《退職職員》

・櫻井 陽子  
・松野 祥子  
・丸山 朋子  
・徳竹 彩菜  
・宮嶋 達吉  
・刈間 春奈



平成28年度 苦情・要望受付報告

・施設の運営について1件

## 編集後記

今年もしらかばだよりを発行することができました。編集にあたり、各部門からご支援・ご協力を頂きましたこととお礼申し上げます。

昨年からの写真を見返すと、楽しく行事に参加したり、1年間頑張った姿が思い起こされます。数ある写真の中から選択するのは苦労しましたが、今回は特に印象深かった写真を掲載します。次号のしらかばだよりに期待して、編集後記といたします。(T・I)